

医療崩壊寸前 8月9日

8月8日月曜日当院の受付は朝からコロナ検査の依頼の電話が鳴りやまない事態に陥りました。中には他院で断られたからと小山町から来院するケースもあり、コロナ検査と、特定検診とワクチン接種の3重苦で、待合室は溢れんばかり人で混雑し、職員一同死に物狂いの外来となりました。そんな中で御殿場看護学校の生徒が地域演習という実習に齋藤医院を訪れ、開業医の実際の診療を学びに来てくれましたが、とてもではないが優しく指導することなどできず、学生さんには開業医の忙しさを見せるだけとなり、物足りない思いをさせたかもしれません。各地でお祭りも決行される状況下、これからお盆の帰省も始まり、さらなる感染が予想されます。最早他人ごとではなく、明日は我が身の感染爆発で、医療も崩壊寸前。御殿場市では少しでも特定の医療機関への感染者の集中を減らすため、夏の休日にコロナ抗原検査を行う企画を立てました。詳しくは市の担当に連絡ください。

